

J.S. バッハの伝道師—
カール・リヒターの遺産

MÜNCHENER
BACH
ORCHESTER



ミュンヘン・ バッハ管弦楽団

芸術監督：ハンスイェルク・アルブレヒト

音楽の父・バッハ、音楽の母・ヘンデル。
クラシック音楽の礎を築いた
バロック音楽2大巨匠の名曲を聴き比べる。



《プログラム》

第1部 バロック作品傑作選

GF.ヘンデル オラトリオ「ソロモン」より“シバの女王の入城” HWV67

J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 BWV1041

GF.ヘンデル 「水上の音楽」第1組曲 へ長調 HWV348

第2部 大バッハの世界

J.S.バッハ

幻想曲とフーガト短調 BWV542『大フーガ』(パイプオルガン)

J.S. バッハ大組曲 (H.アルブレヒト編曲による抜粋作品)
バステイツォ

教会カンタータ“暁の星はいと麗しきかな” BWV1より

コラール “主よ、人の望みの喜びよ” BWV147

教会カンタータ“主なる神は、太陽にして盾なり” BWV79より

世俗カンタータ“我が楽しみは、元気な狩のみ” BWV208 『狩のカンタータ』より

復活祭オラトリオ BWV249より

※歌手ソリスト・合唱は入りません。 ※曲目は楽団の都合により変更となる可能性があります。

—BAROQUE WORKS—

バ ロ ク の 神 髓

Saturday Afternoon, October 12, 2019, at 2:00, Kyoto Concert Hall

2019. 10/12 (土) 14:00開演(13:15開場) 京都コンサートホール 大ホール

●京都市左京区下鴨半木町1-26 <https://www.kyotoconcerthall.org/> ●地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③・①出口から南へ徒歩約5分

SY8,000 AY6,000 BY4,500 (全席指定/税込) ※未就学児童の入場はお断りします ●2019.3/25(月)10:00発売

○京都コンサートホール 075-711-3231 ○チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:145-144] ○ローソンチケット 0570-00-0407 [Lコード:56652]

○CNプレイガイド 0570-08-9990 ○イープラス <https://eplus.jp/otonowa/> ○高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ

○ロームシアター京都 075-746-3201 ○otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ/郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

主催: otonowa/インプレサリオ東京 共催: 京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

お問合せ: otonowa 075-252-8255 [10:00-18:30/日曜・祝日休み 土曜不定休] www.otonowa.co.jp



京都の秋
音楽祭

巨匠カール・リヒターの残した正統派アンサンブル

『ミュンヘン・バッハ管弦楽団』『カール・リヒター』—クラシック音楽ファンなら、この名前を知らない人はいない—それほどまでに、クラシック音楽業界のなかでもとりわけJ.S.バッハ作品の演奏史上、彼らの名は欠かせないほどにその地位を不動のものとしてきた。そうしたミュンヘン・バッハ管弦楽団とカール・リヒターが一世を風靡した時代から四半世紀以上が経ち、現在のミュンヘン・バッハ管弦楽団とリヒターの後継者である芸術監督ハンスイェルク・アルブレヒトによる待望の再来日が、2019年秋、実現する。バッハゆかりの地ライプツィヒやドレスデンでその土壌を築いたりヒターがミュンヘンでその功績をあげたのはご存知の通りだ。そして彼と共にこの楽団の名を世に知らしめた伝説的名歌手、ペーター・シュライアーはその精神を受け継ぎ、彼の愛弟子として長年アシスタントを務めてきた現芸術監督のアルブレヒトは未来へと発展させる重責を担う……。歴史あるドレスデン聖十字架合唱団で音楽教育を受け、ドイツ音楽の本質を学んだこの3人をなくして今のミュンヘン・バッハは語れない。彼らに共通するドイツ音楽の精神がミュンヘン・バッハ管弦楽団の演奏に宿り、それが脈々と受け継がれているのだ。

2014年、2017年の来日公演では「オール・バッハ・プログラム」としてバッハの作品を取り上げた。今年の演奏会では、彼らの十八番・バッハと並ぶバロック時代を代表する作曲家、ヘンデルの作品も取り上げる。同時代に生きながらも、全く対照的な音楽性。その対比を味わえるのも今回の演奏会の醍醐味だ。また、後半は芸術監督アルブレヒトが日本の公演のためにアレンジした“バッハ大組曲”を披露。パスティッチョ=名曲を寄せ集めて再構成、として、有名な“主よ、人の望みの喜びよ”をはじめカンタータやオラトリオから管弦楽の名曲を抜粋する。アルブレヒトたっの強い希望で実現したこのプログラム、聴き逃しのないよう、大いに期待したい。



ハンスイェルク・アルブレヒト

Hansjörg Albrecht

(芸術監督 / 指揮、チェンバロ、パイプオルガン)

カール・リヒターが創設したミュンヘン・バッハ合唱団及びミュンヘン・バッハ管弦楽団の芸術監督。これまでにミュンヘン交響楽団、サンタ・チェチーリア管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、アラベラ・シュタインバッハー、アルブレヒト・マイヤー、等数多くの著名なオーケストラや演奏家と共演を重ねた。

ドイツのフライブルク・ザクソンに生まれ、ドレスデン聖十字架教会合唱団で音楽教育を受けた。その後ハンブルク、リヨン、ケルンで指揮とオルガンを学ぶ。学生時代には7年間ハンブルクの聖ミハエル教会の副オルガニストとなり、その後、歌手・指揮者として著名なペーター・シュライアーのアシスタント・オルガニスト、ハーブシコーディストを務めた。2006年からエームス・クラシックス・レーベルと契約を結び、指揮者として多くのCDをリリース。また、2013年、ホルストの「惑星」(パイプオルガン独奏)でグラミー賞の「Best Classical Instrumental Solo」にノミネートされた。アメリカの新星オルガニスト、キャメロン・カーペンターに続いて、オルガニストとしてこの名誉ある賞に選ばれた史上2人目のアーティストである。

ミュンヘン・ バッハ管弦楽団

ミュンヘン・バッハ管弦楽団 Munich Bach Orchestra



オルガンの巨匠カール・リヒターによって創設。リヒターの指揮者としての実力で、瞬く間に世界的な室内楽団としての地位を築き上げてきた。その長い歴史の中で、パリを始め、モスクワ、東京、ニューヨークなどの世界主要都市でのコンサートを行い、とりわけバッハ作品演奏の解釈によって名声を得ている。

これまで、レナード・バーンスタインやブルーノ・ヴァイル、ペーター・シュライアーなどの著名指揮者と共演を果たす。カール・リヒターと彼に続くハンス=マルティン・シュナイトの後継として、現在はハンスイェルク・アルブレヒトがこの名誉あるミュンヘン・バッハ管弦楽団を率いており、伝統に基づいた演奏法と独創的な再演で、芸術活動を続けている。

プログラム

第1部 バロック作品傑作選

- G.F.ヘンデル オラトリオ「ソロモン」より
“シバの女王の入城” HWV67
- J.S.バッハ ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調 BWV1041
- G.F.ヘンデル 「水上の音楽」
第1組曲 へ長調 HWV348

第2部 大バッハの世界

- J.S.バッハ
幻想曲とフーガ ト短調 BWV542 『大フーガ』(パイプオルガン)
- J.S.バッハ大組曲 (H.アルブレヒト編曲による抜粋作品)
パスティッチョ
- ・教会カンタータ “暁の星はいと麗しきかな” BWV1より
 - ・コラール “主よ、人の望みの喜びよ” BWV147
 - ・教会カンタータ “主なる神は、太陽にして盾なり” BWV79より
 - ・世俗カンタータ “我が楽しみは、元気な狩りのみ” BWV208
『狩りのカンタータ』より
 - ・復活祭オラトリオ BWV249より

※歌手ソリスト・合唱は入りません

ご注意ください チケットをお求めの際は予め下記の事項をご了承くださいますよう、お願い致します。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。
※写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。 ※開演後のご入場は制限させていただく場合がございます。
※本チラシに記載されておりますプログラムは3月現在の予定です。やむを得ない事情により、これらが変更となる場合もございますが、お買い上げ頂きましたチケットのキャンセル、変更および払戻しはできませんのでご了承ください。

公演情報配信中!



インプレサリオ東京
公式ツイッターアカウント
@impresariotokyo

